

◆なぜ税が必要なのだろう？

国や地方公共団体では、私たちが健康で豊かな生活を送るためにさまざまな公共サービスや公共施設を提供しています。

例えば、毎日利用している通学路を考えてみましょう。道路や信号がなければ、私たちは安全に通学できません。また、企業などの経済活動にも支障をきたします。

一方で、道路をつくったり信号を設置したりするには、たくさんの費用がかかります。

このように、すべての国民に必要な公共サービスや公共施設を提供するために、国や地方公共団体が、その費用を税という形で集めているのです。

国民の義務

日本国憲法第30条

「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ（う）。」

税は、国を維持し、発展させていくために欠かせないものですから、憲法でも、税を納めること（納税）は**国民の義務**と定めています。この**納税の義務**は、**勤労の義務**、**子どもに普通教育を受けさせる義務**とならんで**国民の三大義務**のひとつとされています。

◆税はどのように決められるのだろう？

租税法律主義～国民主権のもとでの税～

日本国憲法第84条

「あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、**法律又は法律の定める条件によることを必要とする。**」

民主主義国家である日本では、税に関する法律は国会によって定められています。

選挙で選ばれた国民の代表者（国会議員）が、国会で話し合って税の集め方や使い道を決めているのです。

また、地方公共団体の税である地方税も同様に、地方議会が定める条例で決められています。



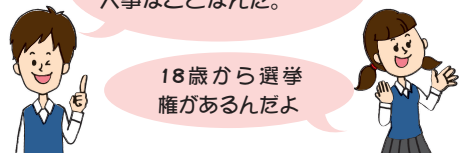
国会
〔提供：衆議院〕



県議会（山梨県）

選挙で議員を選ぶことは大事なことなんだ。

18歳から選挙権があるんだよ

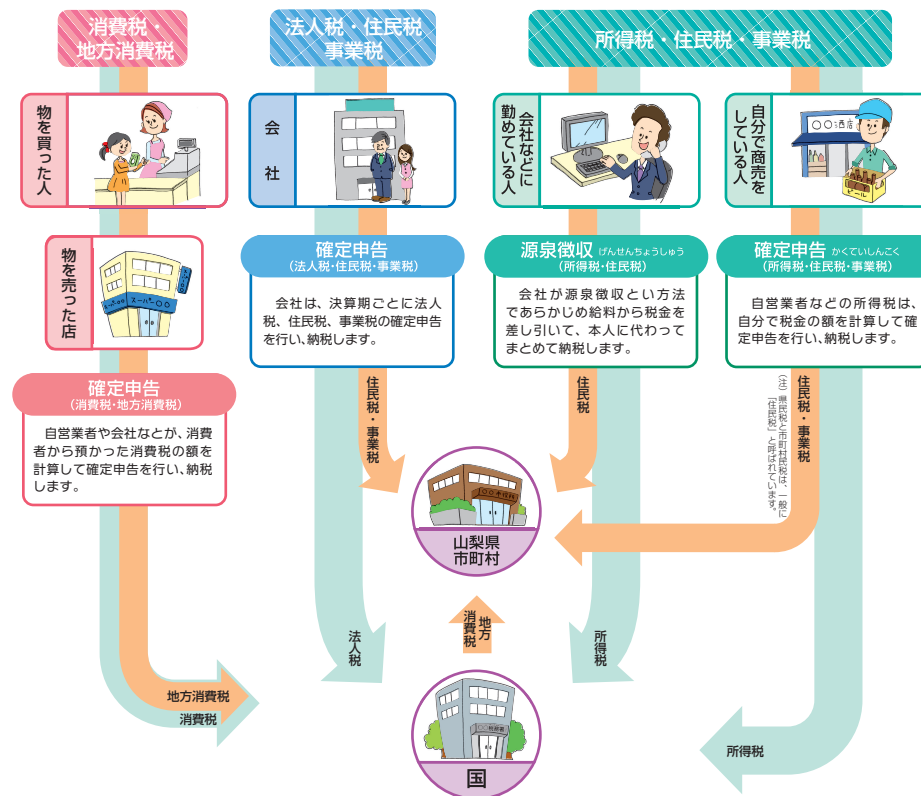


景気（経済）の安定化答え：①→増え、②→減、③→公共事業

なぜ議員を選ぶことが大切なのだろう？

◆税はどのように納めるのだろう？

税の種類や納税の方法は、人によって異なります。



◆どんな税があるのだろう？

税にはたくさんの種類があり、私たちは暮らしの中で、いろいろな場面において税を納めています。また、税には、国に納める「国税」と地方公共団体に納める「地方税」とがあります。地方税はさらに山梨県に納める「県税」と市町村に納める「市町村税」に分けられます。

	直接税（税を負担する人が直接納める税）		間接税（税を負担する人とそれを納める人が異なる税）	
	国税	地方税	消費税	酒税 印紙税 自動車重量税など
地方税	道府県税	市町村税	市町村税	固定資産税 軽自動車税など
	市町村税	市町村税	市町村税	固定資産税 軽自動車税など

税の公平性

所得税などは、所得が多くなればなるほど高い税率を適用する**累進課税**の方法が採られています。消費税などは、所得に関係なく、同じ税率を適用して税を負担しています。この場合、所得の低い人ほど所得に占める税負担の割合が高くなる傾向（**逆進性**）があります。複数の税を組み合わせ、国民の間で公平に負担されることが求められます。